

# 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション					学期	曜日	校時
英語名	English Communication I							
担当 教官名	小笠原 真司	単位数	1 単位	必修 選択	必修	前期	木曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>テキストを利用して、まず聞き取る練習を、いろいろなリスニングストラテジーに基づいて、行います。このリスニングストラテジーを習得することで、リスニングの力を短期間に向上させます。</p> <p>また、テキストを利用して、構文を整理しながら、CDを用いて、基本的な例文や会話を聞いて英語を繰り返す練習と行います。これはリピーティングという練習で、話す練習の基礎訓練です。この練習をたくさんすることで、たくさん話せる英文を身につけることもできます。</p> <p>さらに、応用練習として、ペア で、あるいは、みんなの前で、まとまった内容を英語で話す練習、スピーキングを行います。ペア ワークは大切な活動です。そのために、2 回程度、英語の原稿を書いてもらう予定です。できる範囲で、書く活動、ライティングに関しても指導を行います。また、相手の言う英文の内容を、まとめたり、質問したりする練習もペア ワークで行います。</p> <p>決して、受身的な態度で授業に参加しないでください。また、ポップミュージック等を利用して、リズム、発音等の音声英語の指導も行います。</p> <p>授業の効果を高めるためにも学生は、極力欠席をさけ、積極的に授業に参加してください。英語力をつけるため、毎回、課題も出しますので、家庭学習もきちんと行うことを要求します。がんばって英語の力をつけてください。必ず1回目の授業から参加してください。授業に対する学生の積極的な取組みを期待します。</p> <p>なお、授業に関する質問や英語に関する相談は、授業終了後あるいは、研究室のオフィスアワー（小笠原の研究室の前に掲示しております）の時間帯にお願いします。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>教科書は、1 回目の授業のとき紹介し、教室で販売します。また、必要に応じてプリント教材を使用します。教科書は後期も継続して使用しますので、2 冊とも購入してください。</p> <p>使用教科書 リピーティングで学ぶ話すための基本構文 (Kinseido ¥1900) Primary Listening (Kinseido ¥1200)</p>								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
M15	定期試験の結果を 70%、小テストや授業中のアクティビティの結果を 30%とし、総合的に評価します。							
授 業 計 画								
第 1 回	オリエンテーション					ポップ	ソング	(1)
第 2 回	プリント教材 1	リピーティング 1 - 1				ポップ	ソング	(1)
第 3 回	プリント教材 2	リピーティング 1 - 2						
第 4 回	プリント教材 3	リピーティング 2 - 1						
第 5 回	プリント教材 4	リピーティング 2 - 2				ポップ	ソング	(2)
第 6 回	プリント教材 5	リピーティング 6 - 1				ポップ	ソング	(2)
第 7 回	プリント教材 6	リピーティング 6 - 2						
第 8 回	プリント教材 7	リピーティング 6 - 3						
第 9 回	プリント教材 8	リピーティング 6 - 4				ポップ	ソング	(3)
第 10 回	プリント教材 9	リピーティング 7 - 1				ポップ	ソング	(3)
第 11 回	プリント教材 10	リピーティング 7 - 2						
第 12 回	プリント教材 11	リピーティング 10- 1						
第 13 回	プリント教材 12	リピーティング 10- 2				ポップ	ソング	(4)
第 14 回	プリント教材 13	リピーティング 10- 3				ポップ	ソング	(4)
第 15 回	定期試験							